

課題番号 4

基本方針：Ⅲ	課題名：「多様な担い手の確保による柿とキクの産地づくり」 のうち「キクの産地づくり」	
対象：JAならけん葛城花卉出荷組合（12名）	計画期間：R6～R8	
	事務所名：中部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R6年度末）
① 新たな担い手の確保	関係機関との調整 セミナー（基礎研修）	新規組合員増加数 3人 → 4人
② セミナー卒業生の産地定着	現地栽培指導	新たな担い手の栽培面積 0a → 19a
③ セミナー（実践研修）受講生の技術定着	現地栽培指導 フォローアップセミナー	

総合評価（コメント）

A：4名 B：2名

- セミナー参加者が組合員になる場合の支援は充実しているように思えるが、セミナー参加者をどう増やすのか、広報のあり方も検討していただきたい。
- 地道に活動が続ければ意欲のある新規就農希望者もセミナーに参加してもらえらと思う。引き続き、頑張ってください。
- 担い手は育っている。輪ギク産地というこれまでの位置づけを大切にしつつ、収益性の高い品種選定や技術レベルを向上させることで経営安定につなげてほしい。
- 特徴のある地域を守るため、新規就農者への品目別に資金面のフォローアップ、農地のマッチングができるといいんじゃないか。と思った。
- 今後も支援継続が必要と考えます。

普及指導計画への反映状況等

- キク産地づくりセミナーについて、引き続き開催を継続し、受講生の確保、組合員数の増加に取り組めます。
- キク産地づくりセミナーの募集について、キク栽培のイメージがわからない方が多いと思われるので、参加者増加に向けて、キクの栽培や経営のアウトラインが分かるような簡単な資料を作成する予定です。
- キク生産者の経営安定に資する課題については、一般計画で取り組んでいます。